

# 定例公安委員会の開催状況について

令和2年5月14日（木）に、第13回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

## 1 県警察における新型コロナウイルス感染症対策について

本県警察における新型コロナウイルス感染症対策について報告、説明があった。

### 委員のコメント

- 最悪の事態に備えた対策を講じており安心したが、3密を避けるなどの対策をとりながら、必要なものはやるという姿勢も必要である。そのために、警察官一人一人が「自分は大丈夫」と言えるようにしなければならないし、体制も組まなければならない。個々に指導を徹底してほしい。
- 全国的には警察官の感染者も出ているため、県内においても各部が課題を見だし対策を講じていることを評価する。署員や家族の安全を守るための施策、新型コロナに便乗した犯罪を防ぐ施策、検視におけるPCR検査等、県の体制を陰ながら支えたことも良い取組だと思う。警察署への支援体制や情報通信部におけるタイベックスーツの着脱訓練など県警を挙げた対策を高く評価したい。
- リモートワークなどの各種施策により警察に感染者が出ていないことやネット上の誹謗中傷事案を検挙したことを評価する。新型コロナに関する誹謗中傷は今後多発すると思うので、毅然とした対応を取ってほしい。交通事故に関しては、死者が全国的に増えていると聞いたが、交通量が減った分、スピードが出ているのかもしれないので、取締りにも力を入れてほしい。

## 2 令和元年度第4四半期等における監察実施状況等について

令和元年度第4四半期における監察の実施状況について報告があった。

### 委員のコメント

- 基本原則が形骸化していないか、各警察署に対して再点検を行ってほしい。ヒヤリハットの法則からみても、一つの事案の背景に10くらいの類似事案があるものなので、全体に対して指導をお願いしたい。
- 管区の監察は有効だと思う。日常業務の中でおろそかになる点もあるので、今後もチェックを行い、指摘をいかしてほしい。
- 事案によっては危機感を持たざるを得ないものがある。警察署の風通しの問題、コミュニケーションの問題もあるので、今後も警察学校を含めてきちんと指導し報告してほしい。

### 3 自転車月間における交通事故防止活動について

5月1日から5月31日までの自転車月間における交通事故防止活動について、取組重点等の報告があった。

#### 委員のコメント

- 死者は少ないにこしたことはないが、免許を返納した高齢者の移動手段は自転車しかない。高齢者はふらつくこともあるので、車を運転する側がもっと注意する意識が必要と思う。8歳児の事故に関しては学校との連携も必要と思う。自転車については昼間の出会い頭の事故が多いと思うので、一時停止などの指導をすべきと思う。
- 自転車は基本的に車道を通行する訳だが、自転車道が設置されているところは少ないので整備が必要と思う。実際は歩道を通行することも多いが、ルールをよく知らない人もいるので啓蒙が必要と思う。保険加入や、自転車がより目立つような反射板の取付けについても啓発してほしい。
- どんどん高齢者は増えてくるが、免許証を返納すれば移動手段としては自転車しかなくなる。高齢者に対する講習もお願いしたい。5月18日ないし25日から小学校、中学校も再開するので、小、中学生に対する指導も例年通りお願いしたい。